

二〇二四年 第1回高校レベル記述模試（高1）

国語

解答・解説・採点基準

全4問 90分 200満点

一 (50点)

〈現代文 武井彩佳『歴史修正主義』〉

解答

問一 (1) 阻(む) (2) 眺(めれ) (3) 破棄 (4) 庶民

問二 (a) キ (b) エ (c) イ (d) ア

問三 私たちが実体として認識している世界は、その認識自体が言語によって制約されている以上、実際には言語によって意味づけされた相対的な表象に他ならないという考え方。

問四 オ

問五 (「真実」は、) 事実が持つ力によっておのずと明らかになるのではなく、個々の歴史家が数多くある事実の一部を「事実」として選び出し、解釈することによって初めて見いだされるようになる(ということ)。

問六 歴史が記述されるとき、歴史家の仮説に基づいて「事実」が選択されるうえ、その解釈の枠組みも歴史家の立場や時代に左右されるため、歴史は作業する歴史家によって絶えず「修正」されることとなり、歴史的な「事実」が一つに定まることはないというところ。

採点基準

問一 各2点 8点満点

- (1) 阻(む) (2) 眺(めれ) (3) 破棄 (4) 庶民

問二 各2点 8点満点

- (a) キ (b) エ (c) イ (d) ア

問三 8点満点

1. 私たちは世界を実体として認識しているという内容(2点)
2. 認識自体が言語によって制約されているという内容(2点)
3. 世界は言語によって意味づけされているという内容(2点)
4. 世界は相対的な表象に他ならないという内容(2点)

問四 6点満点

才

問五 8点満点

1. 「真実」は、事実が持つ力によっておのずと明らかになるのではないという内容(2点)
2. 数多くある事実の一部が個々の歴史家によって「事実」として選り出され、解釈されると
いう内容(4点)
3. 「真実」は、2によって初めて見いだされるようになるという内容(2点)

問六 12点満点

1. 歴史が記述されるときという内容(1点)
2. 歴史家の仮説に基づいて「事実」が選択されるという内容(2点)
3. 「事実」を解釈する枠組みも歴史家の立場や時代によって左右されるという内容(3点)
4. 歴史は作業する歴史家によって絶えず「修正」されることになるという内容(3点)
5. 歴史的な「真実」が一つに定まることはないという内容(3点)

二 (50点)

〈現代文 川端康成『散りぬるを』〉

解答

問一 (1) ア (2) エ (3) ア

問二 裁判官が偶然しか認めなかった山辺三郎の犯行心理を、小説家の手により潤色し、必然に追い込むこと。

問三 X 読者 Y 音

問四 ウ

問五 無条件で無制限な愛情を持つ滝子と水晶細工のような純潔さを持つ蔦子とへの愛着によって、彼女たちを美化するため。また、山辺三郎への嫉妬の結果として、当事者でもわからない本人の行為の心理を誰が文学で飾ってやるものかという意地悪さのため。

問六 ウ

採点基準

問一 各3点 計9点

- (1) ア (2) エ (3) ア

問二 9点満点

1. (山辺三郎の犯罪心理について) 裁判官は偶然しか認めなかった、という内容 (3点)
2. (山辺三郎の犯行心理に) 必然を見出そうとする、という内容 (3点)
3. (山辺三郎の犯行心理を) 小説家の手により潤色する、という内容 (3点)

問三 各4点 計8点

- X 読者 Y 音

問四 6点

ウ

問五 14点満点

1. 無条件で無制限な愛情を持つ滝子と水晶細工のような純潔さを持つ薦子とへの愛着、という内容 (4点)
2. (滝子と薦子を) 美化する、という内容 (3点)
3. 山辺三郎への嫉妬の結果、という内容 (3点)
4. 当事者でもわからない本人の行為の心理を誰が文学で飾ってやるものかという意地悪さ、という内容 (4点)

問六 4点

ウ

三 (50点)

〈古文 『世事見聞録』〉

解答

問一

- (1) むやみやたらと
- (2) そうであるのに
- (3) 根拠(理由)

問二

(1) ハ

(2) イ

(3) ホ

(4) ロ

問三

仁術

問四

少しでも何かを欲しがる気持ちがあるとその妙術を施すことはできない

問五

- (i) 医師と世間の人々
- (ii) 医者は表向きを飾り、名医に見せて人々をだまし、人々はそのふるまいから腕も確かだろうと考えるから。

問六

- (i) 人を助けるためのものであって人を痛めつけることがあってよいのか、いやよくない。
- (ii) 薬箱は医道の大事な道具だと、医者が薬箱にぶつかる者に権威を振りかざすから。

採点基準

▼ 採点に際しては、必ず解説を参照して、許容される解答を確認すること。

▼ 小問ごとに、減点法で採点する。0点以下になった場合、その問は0点とする。

問一 各3点 計9点

(1) 3点満点

5. 「猥に」を「無秩序に」「むやみやたらと」などと訳していなければ、3点減点。

(2) 3点満点

1. 「しかるに」を「そうであるのに」「ところが」などと訳していなければ、3点減点。

(3) 3点満点

1. 「謂」を「理由」「根拠」などと訳していなければ、3点減点。

問二 各2点 計8点

(1) ハ

(2) イ

(3) ホ

(4) ロ

問三 4点

仁術

問四

(i) 2点満点

1. 「双方」が「医師」と「世間の」人々」であることを示せていなければ、2点減点。

(ii) 8点満点

1. 「医師は表向きを飾り、名医のふりをする」という内容がなければ、4点減点。

2. 1から「人々は医師の腕が確かだと誤解する」という内容がなければ、4点減点。

問五 10点満点

1. 「双方心に実義なき」の説明として、「医者と人々の両方が道理を見失っている」という内容がなければ、4点減点。

2. 医者が「表向きを飾って名医のふりをしている」という内容がなければ、2点減点。

3. 1の理由として「思いやりの心がない」という内容がなければ、1点減点。

4. 人々が「医者の腕が確かだと考え尊ぶ」という内容がなければ、2点減点。

5. 4の理由として「医者を表向きが立派である」という内容がなければ、1点減点。

問六

(i) 6点満点

1. 「人を助くる品を以つて」を「人を助けるためのものでもって」などと訳していなければ、2点減点。

2. 「人を痛むる事」を「人を痛めつけること」などと訳していなければ、1点減点。

3. 「やあるべき」を「よいか、いやよくない」などと訳していなければ、3点減点。

(ii) 7点満点

1. 「薬箱は医道の大事な道具である」という内容がなければ、2点減点。

2. 「医者が権威を振りかざす」という内容がなければ、3点減点。

3. 2の対象として「薬箱にぶつかった者」という内容がなければ、2点減点。

四 (50点)

〈漢文 『韓非子』〉

解答

問一 ① こたえて ② もし ③ ここをもって

問二 言行而不_レ軌_ニ於法令_一者、必禁

問三 A どういうことか (どうしてか) B 乱世はそうではない

問四 あたらざればすなわちじゅうぎいあり。(あたらざばすなわちじゅうぎいあり。)

問五 愚か者は罰を恐れ進言せず、知恵のあるものは不満を訴えなくなるため。(三〇字)

問六 ウ

採点基準

問一 各3点 計9点

- ① こたえて ② もし ③ ここをもって

問二 9点満点(完答)

言行而不軌ニ於法令ニ者、必禁

問三 各4点 計8点

- A どういうことか(どうしてか) B 乱世はそうではない

問四 8点満点

1. 「あたらざれば(あたらずば)」という表現がない場合3点減点。
2. 「すなわち」という表現がない場合3点減点。
3. 「じゅうぎいあり」という表現がない場合3点減点。

問五 8点満点

4. 「愚か者は罰を恐れ進言せず」という内容がない場合4点減点。
5. 「知恵のあるものは不満を訴えなくなる」という内容がない場合4点減点。

問六 8点満点

ウ